

さくら並木

～自然災害と社会不安が待ち受ける厳しい時代にあって～

『生命と安全を守る』使命の再認識

大河原町長 齋 清志

未だ対処不明の新型コロナウイルスの感染拡大により国民の日常生活が一変し、大きな社会不安と極めて深刻な経済への影響が生じています。本町に於いても、生活困窮者の生活実態と飲食・小売業や下請け中心の中小企業等の経営悪化が気掛りでなりません。町として何ができるのか検討して参る所存です。また、臨時休業が続いた子どもたちの抱えるストレス負荷を考えると、何れ始まる学校再開への具体的な指針が早急に示されるべきではないかと考えています。

さて、本町では今年度より第6次長期総合計画がスタートしています。掲げるコンセプトの中心に、『生命と安全を守る』ことを謳っています。頻発化・激甚化する災害への対応、様々な犯罪や事故から町民を守ることに、さらには健康の維持や今回の様な社会不安等から生命と安全を守ることがまちづくりの原点であり、町の基本的な使命であることを改めて再認識しています。

その様な折、大河原町と町内4つの郵便局との包括的連携に関する協定の調印がなされました。平成15年を皮切りに始った個別協定をまとめて、改めて人的・物的資源を有効に活用し、地域活性化及び住民

サービスの向上等を図ることを目的とするものです。町にとっても町民にとっても身近な郵便局の支援は、たいへん有り難く、また心強い限りです。この協定締結の周知を図りながら、町民の安全・安心に関わる意識の醸一層の高まりに期待を寄せているところです。

また、国策として地方が取り組む『まち・ひと・しごと創生総合戦略』も間もなく5年が経過しようとする中で、これに続く第2期の地方創生の考え方が示されています。本町に於いてもその策定作業が始まっていますが、4つの基本目標を簡単に説明しますと、①稼ぐ地域として安心して働ける、②地方のつながりを築いて新しい人の流れをつくる、③結婚・出産・子育ての希望を叶える、④ひとが集い安心して暮らせる魅力的な地域をつくる、としています。人口減少対策と広域連携にばかり目が行きませんが、地方創生の理念には『安全・安心な地域づくり』が示されています。

嘗て私たちは東日本大震災に見舞われ、昨年は記録的大雨による水害にも直面しました。そして、今回のウィルス感染拡大とパンデミックという社会不安にも晒され

ながら、今改めて危機意識の重要性を痛感させられています。また、今の社会・経済環境の激しい変化への対応を考える度、自治体経営は長期的にも短期的にも柔軟性とスピード感が大切であり、常に緊張感を忘れてはならないという自覚が求められていると受け止めています。

今年は、桜まつりの中止を断腸の思いで決定しましたが、もうすぐ白石川堤の一目千本桜は何事もなかったように咲き誇ることでしよう。『生命と安全を守る』決意を込めながら、町民の心の拠り所である桜に對し、行政の果たすべき使命の再認識を誓ったところです。

(3月19日記)



▲町内郵便局との包括的連携に関する協定締結式であいさつする齋町長。

えずこホールより

Planting Art 種まき

おとぎの国、夢と魔法の時間
～いずこの人もえずこに集まれ～

劇場のシートに座る。緞帳が低い
なりと共に巻き上がると、ステージ
にはまばゆい光景が立ち上がる。役
者のセリフ回し、その流麗な振舞い
は、まるでおとぎの国の出来事の一
つだ。天に突き抜けるようなピアノ
の打音、心の震えがそのまま楽器の
振動に姿を変えたヴァイオリンの響
き、まるで天使がミュゼの力を借
りて奏でているようだ。劇場は、人
の意識や想念や情熱を昇華し、演劇、音
楽、ダンスなどに姿を変えた作品を
上演するところ。アーティストは全
身全霊をかけて神と対話する。役者
のセリフ、演奏家の音色、ダンサー
の筋肉の動きには魔法使いの杖の先
からほとばしる銀色の粉が振りかか
り至福の時間が流れる。もしあなたが
夢と魔法の時間を過ごしたいなら、
劇場に足を運ぶことをお勧めする。
ずいぶん昔にどこかに置き忘れて
しまった好奇心と冒険心が息を吹
き返し、あなたの中でいきいきと心
地よい鼓動を始めるはずだ。

平日の昼下がりの劇場には、
金色にきらめく光の粒のよ
うな陽光がざんざんと降り注ぐ。子どもたちは裸
足で広場を駆け回り、嬌声が幾重にも重なりホール
の壁にはね返る。お年寄りたちは、陽だまりの中
で懐かしい思い出話と今日誰と合っ
て何をするかを嬉しそうに語り合
う。とりとめのない会話、解き放
たれた心、そこには極上の憩いと潤
いのある時間がある。もしあなたが
ゆったりと豊かに過ごしたいなら、
平日の昼下がり劇場に足を運ぶこ
とをお勧めする。思いがけないセ
レンディピティに出会えるはずだ。

えずこホールは、小さな子どもから
大きなおとなまで、誰もが笑顔で元
気になれる場所と時間を用意して
あなたを待っています

前館長 水戸正彦

お問い合わせ TEL 0224-52-3004

info@ezuko.com

URL http://www.ezuko.com/

えずこホール

仙南芸術文化センター

〒989-1267 柴田郡大河原町字小島1-1



学び舎通信

町内小中学校の情報を
毎月お届けします



「伝統と誇りを引き継いで」 堤神楽引継ぎ式

2月14日(金)に神楽引継ぎ式
を行いました。金ヶ瀬小学
校伝統の堤神楽弓八幡舞を6
年生から5年生に引継ぐこ
とができました。

金ヶ瀬小学校は堤神楽の伝
統を守るため、昭和59年から
堤神楽保存会の皆様のご指導
の下、神楽の伝承に取り組ん
でいます。金ヶ瀬小学校を卒
業した町民の方々も堤神楽を
踊ったことがあるのではない
でしょうか。
引継ぎ式での6年生の演舞
は、さすが最高学年と思わせ
る舞でした。最後の勇姿を在
校生の目に焼き付けること
ができました。引継いだ5年生



は、金小祭と町のオータムフ
エスティバルで更に磨きを掛
けて舞う予定です。
堤神楽引継ぎ会を通して、
子どもたちは金ヶ瀬小学校の
児童としての誇りを感じてい
ます。



暗唱大好き

「暗唱朝会のさらなる充実をめざして」

大河原南小学校では各学年2回
ずつ、暗唱活動の成果を発表する
「暗唱朝会」を行っています。

さる1月22日は、1年生と6年
生が発表する令和元年度最後の朝
会となりました。1年生は「みみず
草」と「春の七草・秋の七
草」、6年生は「道程」と「論語よ
り」を発表しました。

1年生は9月以来、2回目の発
表となり、全員で大きな声でそ
ろえて暗唱する姿から、この1年間
での成長を感じる事ができました。
また、6年生は小学校生活最
後の集大成となる発表を目指して
取り組みました。立派な態度で、
体育館に響くその声は、在校生の
模範としてふさわしく、感動的な
締めくくりとなりました。



両学年の暗唱が終わると、体育
館内に割れんばかりの大きな拍
手が鳴り響きました。
今年度もまた、暗唱活動に学
年ごとに工夫して取り組み、で
きるようになった喜びや達成感
を味わえるようにしていきます。

